

平成 27 年 10 月 10 日

公益社団法人愛知県理学療法士会 代表理事 殿

以下の通り、学会・研修会・講習会等の情報掲載を希望します。

ADL の分析とその介入方法 ～脳卒中者の入浴・更衣・排泄を中心に～

開催日：2016年2月11日（木・祝）10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：

麻痺していない手足を有するはずの脳卒中者でありながら、ADL再獲得の困難性を感じる事に良く出会います。一般的にADLは行程（やり方）を分析され、そしてその手順の失敗を修正しながら自立を目指す練習が行われています。

運動は課題と環境、そして個人によって構成されますが、道具操作を観察・分析し決められた手順を繰り返し練習するという「課題」にだけ焦点をあてた練習が常識的とされています。

しかしながら片麻痺者のADLにおける困難性は姿勢制御の問題と感覚・知覚障害の問題が理由となっている場合も多く、しかもその困難性の理由は様々であり、療法士には「個人を診る」高いクリニカルリーズニングの能力が問われます。

このセミナーでは主に片麻痺者のADLの困難性について、その理由をリーズニングするための知識と、症例の実例提示、そして具体的な介入方法を実演方式で提示してみたいと思います。

講 師：伊藤 克浩 先生

（山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副部長
日本ボバース研究会 会長・理学療法士）

会 場：名古屋市中心企業振興会館 7階 メインホール

受講費：12,500円（税込）（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります）

定 員：250名

セミナーのお申込は[合同会社 gene ホームページ](#)よりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：合同会社 gene（愛知県士会後援依頼申請中）

※実演に関するご案内

・参加人数により「提示」のみとさせていただきます。